

まちの「今」をお届けします

小野田・楠企業団地へ進出
市と山陽小野田グリーン
エネルギー(株)が協定を締結

山陽小野田グリーンエネルギー株式会社の小野田・楠企業団地への進出決定に伴い、2月20日、市役所で市との協定調印式が行われました。同社は西松建設株式会社の子会社として令和4年4月に設立され、今後木質バイオマス発電事業を行います。木質バイオマス発電とは、再生可能エネルギーの一つであり、地域の木質資源の活用によってエネルギーを生み出すことができる地産地消型の電源です。

藤田剛二市長は「本市で素晴らしい企業が誕生したことを嬉しく思う。操業がスムーズに進むよう支援したい」とあいさつしました。また、神谷拓生代表取締役は「雇用を創出するとともに、地域の産業を発展させていく新しい産業にしていきたい」と抱負を述べました。

操業開始は令和6年7月予定で、当団地への企業進出は13社目です。

■山陽小野田グリーンエネルギー株式会社
〈本社〉山陽小野田市大字高畑字北畑77番地111
〈代表者〉代表取締役 神谷 拓生



左から藤田市長、縄田浩之県商工労働部企業立地統括監、神谷代表取締役



岡本会長(写真左)から自治会連合会役員10年表彰を受ける大本章男さん

自治会活動など地域づくりに貢献
令和4年度功労者表彰

2月7日、市自治会連合会、市快適環境づくり協議会、市防犯防災協会(いずれも岡本志俊会長)主催の功労者表彰式が市民館で行われました。自治会活動や環境美化など地域づくりに長年貢献したとして、8団体と52人が受賞し、岡本会長が受賞者一人ひとりに賞状と記念品を手渡しました。



山本晃センター長(右から3人目)

有帆地域交流センター
全国優良公民館表彰を受賞

有帆地域交流センターが第75回全国優良公民館表彰を受賞し、2月15日、藤田市長と長谷川裕教育長に受賞を報告しました。有帆地区では、学習発表会や講座の企画運営、広報誌の発行などに地域のみなさんが主体的に関わっており、センターが地域づくりの拠点として、地域一体となって活動する姿勢が高く評価されました。